

小平市ふれあい下水道館30周年記念講演

宇宙最強のいきもの！？

クマムシの謎と 生命のフシギ

100度の灼熱、-270度の絶対零度。
宇宙空間や大量の放射線…
あらゆる過酷な環境を生き抜く
最強のマイクロ生物「クマムシ」。
クマムシの研究で世界をリードする
國枝先生とともに、クマムシの謎、
そして生命活動の神秘へと迫ります。



2025

11.1

土

開場 9:30 / 開演 10:00
(11:30 終了予定)

会場

小平市民文化会館「ルネこだいら」レセプションホール
東京都小平市美園町1-8-5
(西武線小平駅から徒歩3分/駐車場はありません)

入場

入場無料、事前申し込み制 (先着順)

申込

9/20(土)10:00から10/30(木)16:00まで

Tel. 042-326-7411 (小平市ふれあい下水道館 / 10:00~16:00 ※月曜休館)



もしくは左のQRコードを読み取り、
申込フォームからお申し込み下さい。



講師

くにえだ たけかず
國枝 武和

兵庫県立大学教授

主催：小平市 (指定管理者：こだいらパークコネクトグループ)

小平市ふれあい下水道館 開館30周年記念講演

記念講演 クマムシの謎と生命のフシギ

ふれあい下水道館開館30周年を記念して、記念講演を開催します。

100度の高温やマイナス270度の環境を生き抜く、宇宙最強の生きもの「クマムシ」をテーマに、最強と名高いその生態と生命活動の神秘へ迫ります。

講師紹介 くにえだ たけかず 國枝 武和 氏 兵庫県立大学 教授

昭和46年生。東京大学薬学部卒。同大大学院薬学系修士、博士課程を経て薬学博士。東京大学助教、准教授を経て、兵庫県立大学教授。専門は、極限環境生物学。平成16年からクマムシの研究を開始。令和6年にクマムシのゲノム編集技術の開発に成功し、クマムシの遺伝子研究分野で世界をリード。今後、医療分野等への応用が期待されています。



國枝 武和氏

Topic クマムシとは

クマムシは、地球上どこにでも存在している非常に小さな生きものですが、驚異的な生命力をもっています。体長は約0.1mmから0.8mm程度。肉眼ではほとんど見えません。ずんぐりとした丸い体型、8本の短い脚で、もぞもぞと歩く姿はとても愛くるしく、ファンも多いとか。高温や絶対零度、放射線など、普通の生きものでは耐えられない「極限環境」を生き抜く耐性をもっているため、その生態を探るべく世界中で研究が進められています。



下水処理でも活躍するクマムシ
左上が頭部（写真提供：池田市）

会場案内 「ルネこだいら」レセプションホール



施設情報

小平市民文化会館「ルネこだいら」
〒187-0041
東京都小平市美園町1-8-5

アクセス

西武線小平駅より徒歩3分
※駐車場はありません。
公共交通機関でお越しください。

問合せ先

小平市ふれあい下水道館
TEL：042-326-7411